

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲については、現金、普通預金、未収金、仮払金、未払金、前受金、仮受金、預り金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	前期末残高
現金	50,000	50,000
普通預金	19,441,698	21,072,831
未収金	0	0
仮払金	14,420	429,600
合 計	19,506,118	21,552,431
未払金	0	170,891
前受金	11,562,195	11,501,695
仮受金	220,500	1,786,400
預り金	236,416	384,343
合 計	12,019,111	13,843,329
次期繰越収支差額	7,487,007	7,709,102

3. 予算額と決算額の差異が著しい科目について

計算書に記載のとおり

(差異が100万円以上の科目は会計報告時に説明)

4. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

大科目をまたぐような科目間の流用はありません。

(2) 予備費の使用

予備費予算額500,000円の使用はありません。